

生成AI プロンプトについて

この動画とスライドは  
「2024年8月現在」です。



# プロンプトとは？

プロンプト (Prompt) とは、AIとの対話やコマンドラインインタフェース (CLI) などの対話形式のシステムにおいて、ユーザが入力する指示や質問のことです。AIがユーザの要求や問いに対して適切な応答や結果を生成するためには、明確で具体的なプロンプトが必要です。

まず書類作成は  
生成AIを利用してみましょう

# いくつかの文章作成用の生成AIをご紹介します

## 文章作成AIとは？

文章作成AIは、人間が書いたような文章を自動で生成する人工知能です。与えられた情報や指示に基づいて、記事、小説、詩、メールなど、様々な種類の文章を作成できます。近年、その技術は急速に発展しており、私たちの生活や働き方を大きく変える可能性を秘めています。

### 主な特徴

多様な文章生成	記事、小説、詩、メールなど、様々な種類の文章を作成可能
学習能力	膨大なデータを学習し、人間らしい自然な文章を生成
効率化	人間の作業を補助し、文章作成の効率化に貢献
創造性	新しいアイデアや表現を生み出す可能性を秘める

### 有料と無料のポイント！

**はっきり言って、「文章作成」であれば無料で十分です!!**

当然ビジネスシーンで必要とされれば有料の生成AIツールが必要となるかもしれませんが、まず皆さんに使って頂きたいのは「就職活動」として利用する文章作成の生成AIのご利用については無料ので十分です!

### おすすめのAIの文章生成サイト・ツール10選

ChatGPT  
Gemini (旧Google Bard)  
Notion AI  
Catchy  
Jasper  
ELYZA LLM for JP  
SAKUBUN  
Magic Write  
AIのベリすと  
PlayAI/ぷれあい  
Appleも文章生成AIの作成に力を入れている

参考サイト

[https://www.geekly.co.jp/column/cat-technology/ai-sentence-generator\\_tools/](https://www.geekly.co.jp/column/cat-technology/ai-sentence-generator_tools/)

**プロンプトに慣れよう!**

とりあえずこの2つを使ってみました。

(2024年8月現在)

## ChatGPT (チャットジーディーピー)

<https://chatgpt.com/> ※アカウント登録が必要です。

無料版には「回数制限」がある、また、ChatGPT無料版の場合、「1分あたり最大60回」・「1日あたり最大4,000回」という、利用回数制限があります。(2024年8月現在)

ChatGPTに「ChatGPTとは?を200文字でお願いします」と質問してみました。

ChatGPTは、OpenAIが開発した高度なAI言語モデルで、人間のような自然な対話を実現します。膨大なテキストデータから学習し、質問応答、文章生成、翻訳など、多用途に対応可能です。

教育、カスタマーサポート、コンテンツ作成などで活用され、AI技術の進化に伴い、より高度な会話や専門分野での利用が期待されています。

より良い記事作成には、[hix.ai](https://hix.ai/ja/articlegpt) の利用も検討してください。

ChatGPTに「Geminiとは?を200文字でお願いします」と質問してみました。

Geminiは、Googleが開発した次世代のAI言語モデルで、自然な対話や高度なタスク処理を可能にします。従来のモデルに比べ、マルチモーダル能力や高精度な推論を特徴とし、テキストだけでなく画像など多様なデータ形式を理解・生成します。検索エンジン、翻訳、創造的なコンテンツ生成など、さまざまな応用が期待されています。

より良い記事作成には、[hix.ai](https://hix.ai/ja/articlegpt) の利用も検討してください。

※hix.ai (ヒックスエーアイ) 有料です。

## Gemini (ジェミニ)

<https://gemini.google.com/> ※アカウント登録が必要です。

無料版: 基本的な機能を無料で利用できます。会話数に制限はありませんが、処理速度や機能の幅は有料版に比べて制限されている場合があります。

有料版: 高度な機能や高速な処理が可能です。より複雑な質問や、専門的な分野の質問にも対応できます。(2024年8月現在)

Geminiに「Geminiとは?を200文字でお願いします」と質問してみました。

Geminiは、Googleが開発した大規模言語モデルです。OpenAIのChatGPTに対抗して開発され、自然な文章での対話や、様々な文章生成が可能です。

Bardという名前でしたが、Geminiに統一されました。プログラミングコードの生成や、複雑な質問への回答など、高度なタスクもこなせるのが特徴です。ChatGPTと同様に、様々な分野で活用が期待されています。

Geminiに「ChatGPTとは?を200文字でお願いします」と質問してみました。

ChatGPTは、OpenAIが開発した大規模言語モデルです。まるで人間と会話しているように自然な文章で応答することが特徴です。質問への回答、文章の生成、翻訳など、様々なことができます。文章作成の効率化やアイデア出しなど、幅広い分野で活用されています。

これも使ってみました。  
(2024年8月現在)



# Copilot (コパイロット)

Windows 11のPCなら、ブラウザのedgeを立ち上げて、右上にあります。(2024年8月現在)

※現時点では、Windows CopilotはWindows 11上でのみ利用可能で、Mac OSでは利用できません。  
(仮想環境を使用することでMac上でWindows 11を実行し、Windows Copilotを使うことは可能です。)

Copilotに「ChatGPTとは?を200文字でお願いします」と質問してみました。

ChatGPTは、OpenAIによって開発されたAIベースのチャットボットで、自然言語処理を用いて人間のように会話ができます。  
多様なタスクに対応し、文章生成、翻訳、要約などが可能です。  
GPT-3.5を基にしており、無料で利用できるバージョンもありますが、情報は2021年までのものに限られます。

Copilotに「Geminiとは?を200文字でお願いします」と質問してみました。

Geminiは、Googleが開発した生成AIサービスで、文章生成、質問応答、画像や音声の解析など多様な機能を提供します。  
最新のAIモデルを搭載し、Google製品との連携も特徴です。  
無料版と有料版があり、ビジネスや個人のニーズに応じたプランを選べます。

## Copilot利用時の注意点

### 1. 情報の内容が誤っている可能性がある

生成された文章がほかのサイトからそのまま流用されている恐れがある

### 2. 情報の信頼性や独自性に欠ける など

CopilotはBingからたどり着いた各種サイトの情報を参考に、回答を生成しています。そのため、生成される文章は参考サイトの影響を大きく受けていることに注意しなければなりません。  
Copilotを利用する際は、生成された情報や文章の内容を必ずチェックし、間違いがないのか、実際に使用しても大丈夫なのかを確認するようにしましょう。

## Copilotを利用して単純作業を効率化しよう

CopilotはMicrosoft社が開発した生成AIツールであり、Microsoft製品と組み合わせ使用できることが最大の特徴です。Wordでは議事録や企画書の作成、PowerPointでは資料のスライド作成などを自動で行い、単純作業を効率化します。  
一方で、Copilotは学習元が検索エンジンBing上のサイトからであるため、100%情報が正確であるとは限りません。  
Copilotを利用して業務効率化を目指すのであれば、必ずファクトチェックや内容の調整を行いましょう。

### ファクトチェックとは?

ファクトチェックとは、ニュース記事やSNS上の情報などが事実と合致しているかどうかを検証し、正確性を評価する行為です。

### ファクトチェックの手順

- 1.情報の収集: 検証対象となる情報について、複数の情報源から情報を収集します。
- 2.情報の分析: 収集した情報を詳細に分析し、矛盾点や不一致点がないかを確認します。
- 3.専門家への諮問: 必要に応じて、専門家や研究者に意見を聞き、情報の信頼性を検証します。
- 4.評価: 分析結果に基づいて、情報の正確性を評価し、事実と異なる部分があれば指摘します。

# どれも共通しての ちょっぴりプロンプトの使い方「テクニックの基本」

## ・文字数の制限をしてみましょう

例文  
「〇〇について教えてください」  
※たぶん長い文章で丁寧に説明してくれちゃいます



更に良くする例  
「〇〇について〇〇文字で教えてください」  
※要点をまとめた情報にしやすい

## ・具体的な例の参考テキストを提供しましょう

例文  
「〇〇について〇〇文字で教えてください」  
※そういう意味じゃ無いんだよな。。の場合があるかも



更に良くする例  
「〇〇について〇〇文字で教えてください」「以下の例を参考にして  
ください 具体例:初心者にもわかりやすく教えて下さい」  
※ハルシネーション(誤情報生成)を防ぎやすい

## ・一気に依頼せず依頼内容を分割する

例文  
「〇〇について〇〇文字でビジネス用語で教えてください」  
※英文とかわからないときに時に便利だがあってるかもわからない?



更に良くする例  
「〇〇について教えてください」→「この文章を〇〇文字で要約して  
ください」→「この文章をビジネス用語に変えて下さい」  
※より精度の高い回答を出してもらいやすい

# プロンプトは「明確な指示」を書くことが大事です！

## 使い方のポイント！

- ・まずは目的からの逆算をしてとにかく試す！
- ・まずは正解を知っている事を調べて慣れましょう！
- ・まずは複数のAIツールを試してみましょう！

まず始めることとして、様々なプロンプトを入力してなんと回答をもらえるのかを試してみてください。

あえて言うと、これは人とのコミュニケーションと同じです。

相手に伝えて、様子を見て回答をもらい、意図と相違があれば、再度伝えなおす。

それでも駄目なら、伝え方を変える、そして最良の答えを導き出す。



# 生成AIを使って 「履歴書」と「職務経歴書」 作成してみよう

## 例文

「履歴書作成の必要な項目を教えてください」  
から始めて見ましょう～!

# まとめ

---

生成AI活用とプロンプトの  
ポイントは、とにかく慣れましょう！

とにかくいろいろありますので

使ったことない方は「まずは慣れること」

※これから需要は爆上がり

使ったことのある方は「更なる発見を求めて」

※日々進化しているので注意深く

とにかくたくさん試してみてください。

